

食品安全委員会の10月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第303回 10月1日（木）

- (1) 各専門調査会における審議結果についての報告
- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会 (1品目)	イソペンチルアミン
遺伝子組換え食品等専門調査会 (3品目)	GLU-No. 2株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム、PHE-No. 2株を利用して生産されたL-フェニルアラニン、 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統

- (2) 食品健康影響評価
- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

動物用医薬品 (2品目)	ケトプロフェン、ピペラジン
動物用医薬品及び飼料添加物 (1品目)	オラキンドックス
遺伝子組換え食品等(1品目)	除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統と除草剤グルホシネート耐性トウモロコシT25系統を掛け合わせた品種

- (3) リスクコミュニケーション専門調査会からの報告について、野村委員及び事務局から報告
- (4) 「食品安全委員会専門調査会運営規程の一部改正について」事務局から説明後、案のとおり改正することとなった
- (5) 「食品安全委員会専門委員の改選について」事務局から報告
- (6) 「食品健康影響評価技術研究運営委員会構成員の改選について」事務局から説明後、案のとおり決定

第304回 10月8日（木）

- (1) 食品健康影響評価の要請
- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等(2品目)	イミダゾリノン系除草剤耐性ダイズBPS-CV127-9（食品・飼料）、乾燥耐性トウモロコシMON87460系統（食品・飼料）
----------------	--

- (2) 各専門調査会における審議結果についての報告
- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	エトフェンプロックス
------------------	------------

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(1品目)	2-エチル-5-メチルピラジン
----------	-----------------

(4) 「食品安全委員会が既に食品健康影響評価の結果を有している評価対象について、食品安全基本法第24条の規程に基づき意見を求められた場合の取扱いについて」事務局から説明し、案のとおり決定

(5) 食品安全委員会の9月の運営について事務局から報告

第305回 10月15日(木)

(1) 大島内閣府副大臣・泉内閣府大臣政務官挨拶

(2) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

(評価要請及び評価要請の取下げ) 新開発食品 (10品目)	エコナクッキングオイル外9品目
汚染物質 (1案件)	カドミウム及びその化合物に係る水道により供給される水の水質基準の改正について

- ・エコナクッキングオイル外9品目については、食品健康影響評価要請の取り下げとして処理することとなった
- ・カドミウム及びその化合物に係る水道により供給される水の水質基準の改正については、本年10月8日付けの食品安全委員会決定「食品安全委員会が既に食品健康影響評価の結果を有している評価対象について、食品安全基本法第24条の規定に基づき意見を求められた場合の取扱いについて」の1の(1)「委員会が、関係各大臣から提出された資料等により新たな科学的知見の存在を確認できないときは、食品安全基本法第11条第1項第2号に該当するものと認められる旨を関係各大臣に通知することができるものとする。」に該当するものとされ、事務局において手続を行うこととなった

(3) 米国産牛肉の混載事例についての対応状況等について、厚生労働省及び農林水産省から報告

(4) 食品安全モニターからの報告(平成21年8月分)について、8月中に報告された19件について事務局から報告

第306回 10月22日（木）

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会 (1案件)	添加物に関する食品健康影響評価指針
農薬専門調査会 (1品目)	チジアズロン
動物用医薬品 専門調査会 (1品目)	ニューカッスル病・マレック病（ニューカッスル病ウイルス由来F蛋白遺伝子導入マレック病ウイルス1型）凍結生ワクチン（セルミューンN）

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬 (3品目)	キザロホップエチル、トリネキサパックエチル、ペントキサゾン
遺伝子組換え 食品等(1品目)	除草剤グリホサート耐性ワタGHB614系統

(3) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成21年9月分）について事務局から報告

第307回 10月29日（木）

(1) 食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときについて（照会）

- ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づく、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第1食品の部 A 食品一般の成分規格 5から7までにおいて、各小項目に掲げる食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法に、これら試験法と同等以上の性能を有する試験法を追加することは、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することが確認された

(2) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬（7品目）	シアゾファミド、チオベンカルブ、フルベンジアミド、フロニカミド、トリシクラゾール、イミダクロプリド、クロルピリホス
---------	---

(3) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	フェンチオン
動物用医薬品 専門調査会 (1品目)	レバミゾール
遺伝子組換え食品 等専門調査会 (1品目)	ARG-No. 2株を利用して生産されたL-アルギニン

(4) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

遺伝子組換え食品等 (1品目)	除草剤グリホサート耐性ワタGHB614系統(飼料)
--------------------	---------------------------

(5) 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果(平成21年10月)について事務局から報告

2. 専門調査会の運営

(1) 添加物専門調査会

第79回 10月20日(火)

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・「ブチルアミン」について調査審議し、継続審議となった
- ・事務局から添加物専門調査会の審議の進め方について説明

(2) 農薬専門調査会

第27回 確認評価第二部会 10月6日(火) ※非公開

- ・「イマザピックアンモニウム塩」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「シクラニリド」について調査審議し、継続審議となった

第34回 総合評価第二部会 10月9日(金) ※非公開

- ・「ピコリナフェン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「アミノエトキシビニルグリシン」について調査審議し、継続審議となった

第56回 幹事会 10月14日(水)

- ・「ホルペット」及び「クロルフェナピル」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

- ・「モリネート」について調査審議した結果、追加提出された資料についての審議が必要であるため、総合評価第一部会において再度審議することとなった
- ・塩酸ホルメタネートの審議経過について報告

第35回 総合評価第一部会 10月21日（水） ※非公開

- ・「エチオン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「フェントエート」について調査審議し、継続審議となった
- ・幹事会における塩酸ホルメタネートの審議について報告

（3）動物用医薬品専門調査会

第117回 10月23日（金）

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・事務局から動物用医薬品の安全性評価基準（案）の概要を説明し、今後、記載内容の詳細について審議していくこととなった

（4）器具・容器包装専門調査会

第11回 10月28日（水）

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・事務局から器具・容器包装専門調査会におけるこれまでの評価実績、審議中のビスフェノールAに関する審議体制及び今後の審議予定について説明
- ・器具・容器包装の安全性確保に関する欧州及び米国における現状について、Dr. Feigenbaum（欧州食品安全機関食品接触物質パネル座長）及びDr. Lin（米国食品医薬品局食品安全・応用栄養センター食品添加物安全事務局食品接触届出課課長・上級専門審査毒性学者）による講演後、講演内容に関する総合討議を行った

（5）化学物質・汚染物質専門調査会

第2回 10月8日（木）

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・化学物質・汚染物質専門調査会の運営体制に関する事項（平成19年10月2日化学物質・汚染物質専門調査会決定）に基づき、佐藤座長より、幹事会、化学物質部会、汚染物質部会及び清涼飲料水部会を構成する専門委員、座長、座長代理が指名され、了承された
- ・鉛の食品健康影響評価を行うために設置された鉛ワーキンググループについても、佐藤座長により、構成する専門委員、専門参考人及び座長が指名され、了承された

第6回 清涼飲料水部会 10月8日（木）

- ・清涼飲料水中の化学物質（シアン）の規格基準改正に係る食品健康影響評価について調査審議し、継続審議となった

(6) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第74回 10月19日(月)

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出

第75回 10月19日(月) ※非公開

- ・「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統(飼料)」について調査審議し、評価書(案)食品安全委員会に報告することを決定
- ・「ARG-No. 2株を利用して生産されたL-アルギニン」について調査審議し、指摘内容を確認の上、評価書(案)を了承することとなった
- ・「乾燥耐性トウモロコシMON87460系統(食品・飼料)」及び「イミダゾリノン系除草剤耐性ダイズBPS-CV127-9(食品・飼料)」について調査審議し、継続審議となった

(7) 肥料・飼料等専門調査会

第32回 10月30日(金)

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・事務局からポジティブリスト制度における対象外物質の評価について、説明を行った後、食品安全委員会の食品安全確保総合調査事業として実施された「平成20年度農薬等のポジティブリスト制度における対象外物質の食品健康影響評価に関する情報収集調査」について、調査受託者の財団法人国際医学情報センターから報告、今後、対象外物質については、物質の種類ごとに効率的に審議を行っていくこととされた

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

『食品の安全』に関するセミナー

10月7日(水) <福岡県福岡市>

- ・九州農政局福岡農政事務所との共催により開催
- ・食品安全委員会から、「知っておきたい食の安全～安全・安心と食品の安全性評価～」として、リスク分析の枠組みやリスク評価について紹介
- ・農業者・流通業者・消費者から取組事例が紹介され、会場との意見交換を実施

ジュニア食品安全委員会inあきた

10月13日(火) <秋田県秋田市>

- ・秋田県との共催により開催
- ・食品安全委員会の廣瀬委員による、食品の安全性についての短いレクチャーや、食品安全に関するクイズ、意見交換を実施

ジュニア食品安全委員会@文京区

10月20日(火) <東京都文京区>

- ・文京区との共催により開催
- ・お茶の水女子大学附属小学校で5年生を対象として、食品安全に関するクイズ、意見交換を実施

アフタヌーンカフェ ～「安全な食べもの」って何だろう～

10月26日（月） <栃木県宇都宮市>

- ・宇都宮市との共催により、国民の皆さんと一緒に学ぶ場として、気軽な雰囲気のアフタヌーンカフェを開催
- ・話題提供者からのスライドを使った30分程度のレクチャーの後、参加者の疑問や意見が書かれた「質問カード」の内容について、意見交換を実施

ジュニア食品安全委員会in岐阜

10月31日（土） <岐阜県美濃市>

- ・岐阜県との共催により開催
- ・美濃小学校で3年生の親子を対象として、食品の安全性に関するクイズを実施

(2) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座（ファシリテーター型）

10月14日（水）<群馬県前橋市>

10月23日（金）<京都府京都市>

- ・午前は、内閣府食品安全委員会事務局が制作した、リスク分析と食品安全委員会の役割について説明したDVD上映と、ファシリテーションの基礎知識に関する講義の後、参加者がファシリテーションの基本的なスキルのいくつか（傾聴など）について、実習を行った
- ・午後は、参加者がグループに分かれ、アイスブレイクをした後、ワークショップのいくつかの手法を体験

(3) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座（インタープリター型）

10月8日（木）～9日（金）<石川県金沢市>

10月29日（木）～30日（金）<兵庫県神戸市>

- ・1日目は、講師が、食品安全委員会の概要、インタープリターに期待すること、リスクのとらえ方、リスク評価の実際（BSE）を中心に説明した後、受講者は、当委員会が用意したスライド資料をたたき台にして、有効な資料に仕上げるには何が必要かなどを討議を実施
- ・2日目は、講師が、当委員会が行っている食品のリスク評価（農薬）を説明した後、演習の一環として行われる小規模意見交換会「アフタヌーンカフェ」の効果的な進め方、設営準備の実際等を経験し、実際に、受講者が役割分担しながら、アフタヌーンカフェを開催

(4) 講師等派遣

- ・地方公共団体企画や各種団体企画の講演会等へ委員が講師として参加した

月 日	講演会名	対応委員
10月2日	第14回静岡健康・長寿学術フォーラム	長尾委員
10月8日	(社)日本食品衛生学会第98回学術講演会シンポジウム	見上委員
10月21日	平成21年度 みやぎ食の安全安心セミナー	野村委員